重度心身障害者等介護手当受給(更新)申請書 (ねたきり高齢者用)



令和7年 4月 1日

(あて先)富山市長

	住 所	富山市 新桜町7番38号	電話 443 [—] 2062
申請者(介護者)	ふりがな氏名	とやま たろう 富山 太郎	
	生年月日	昭和10年 8月 10日	被介護者との続柄との続柄

次のとおり、重度心身障害者等介護手当の受給認定(更新)の申請をします。

重度心身	住		富山市	新桜町7番38号	電話	443-2062
重度心身 障害者 (被介護者)	ふり: 氏	がな 名		とやま はなこ 富山 花子		
	生年	月日		昭和15年 7月	11日	

次の1から4のうち該当する数字に○をつけて該当箇所の記載をして下さい。

1 自从院宇老	工作五口		都道府県・市	障害名		
1 身体障害者	手帳番号	第	号	等 級	種	級
2 知的障害者	療育手帳		A	番号	第	号

- 3 ねたきりの高齢者
- 4 認知症高齢者

介護手当は、申請者の次の口座に振り込んで下さい。

金融機関コード	店番コード	_	
金融機関名	北陸 銀行 金庫·農協 富山市役所 本店·支店	座	金融機関
預金の種類	普通・当座・ 貯蓄	確認	口座確認印
口 座 番 号	1111111 名義人 とやま たろう 富山 太郎	品	

	隻手当の支 に同意しま				査 の同 意 中の所得状況について、富		国名(自 国名)の場
申:	請者(介 護	者)	氏名 富山	太郎	LII ≽ /	合押印 <u>不</u> 要
重度	心身障害る	皆等(被介	護者)	氏名 富山	花子	即	=
同	居	家	族	氏名 富山	奈々子	印	 名(自署)
同	居	家	族	氏名		\ \r\ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \ \	石(日春) 外の場合
同	居	家	族	氏名	利用者と同居家族全員 の署名をお願いします。	印押	印 <u>必要</u>
同	居	家	族	氏名	難しい場合は、記名・押	印	
同	 居	家	族	氏名	印でも構いません。	印	

長寿福祉課

(裏面も記入して下さい)

証 明 書

(ねたきり高齢者用)

重度心身障害者等の現在の状態(該当する□に○をつけてください。)

項目	自分で可	一部介護	全 介 護
ア歩行	□ 杖等を使用し、かつ時間 がかかっても自分で歩ける	□ 付き添いが手や肩を貸せ ば歩ける	□ 歩行不可能(ねたきり)
イ排 泄	□ 自分で昼夜とも、便所 でできる □ 自分で昼は便所、夜は 簡易便器を使ってできる	□ 介助があれば、簡易便器 でできる □ 夜間は、おむつを使用 する	□ 常時おむつを使用している
ウ食事	□ スプーン等を使用すれば 自分で食事ができる	□ スプーン等を使用し一部 介助すれば食事ができる	□ 臥床のままで、食べさせ なければ、食事ができない
エ入浴	□ 自分で入浴でき、洗える	□ 自分で入浴できるが、洗 うときだけ介助を要する □ 浴槽の出入りに介助を 要する	□ 自分でできないので、全 て介助しなければならない□ 特殊浴槽を利用している□ 清拭をおこなっている
オ 着脱衣	□ 自分で着脱ができる	□手を貸せば着脱できる	□ 自分でできないので、全 て介助しなければならない

常	時介護を	必要と	する状態になっ	た時期	令和3 年	8月 8日
現	①入院	月	日から 病院	③在宝	要介護	要支援·要介護1·要介護2
状	②入所	月	日から 施設		認定	要介護3・要介護4・要介護5

	上記の通り相違ないことを証明します。
	令和 7年 4月 1日 職名 地域包括支援センター
証	民生委員·身体障害者相談員
明	住所 富山市総曲輪1番1号
欄	すこやか地域包括支援センター
	氏名 福祉 老子 印